

新たな広域自治・行政のあり方研究会 第2回会議の開催結果について

関西広域連合の今後のあるべき姿や担うべき役割等について検討する「新たな広域自治・行政のあり方研究会」の第2回会議を開催した。

参考資料



関西広域連合

令和8年2月28日
本部事務局地方分権課

会議の概要

- 1 日 時 令和8年2月3日(火)10:30~12:00
- 2 場 所 滋賀県危機管理センター 災害対策本部室（オンライン併用）
- 3 出席者 三日月広域連合長、西脇副広域連合長、久元副広域連合長、
新川ファシリテーター、久木元アドバイザー、谷アドバイザー、谷ロアドバイザー、真鍋アドバイザー

4 意見交換のテーマと主なコメント

(1) 首都圏とは異なる「もう一つの極」として関西のあるべき姿

- ・ 自然や歴史・文化、都があること、自治の伝統、産業の集積、府県を越えて流れる河川のつながり等が関西の強み・魅力
- ・ 首都圏と共通する部分（首都機能のバックアップ）、首都圏と違う部分（歴史・文化、住む環境、開放的な空気等）の両方を有する関西
- ・ 「課題克服先進地域」として、自然生態系との共生、循環型社会、地方分権、多極分散型の国土形成、人口減少・少子高齢化のソリューション、自治体間連携等の取組を試みる関西

(2) 「もう一つの極」となる関西を実現するために関西広域連合が担うべき役割や取り組むべき分野・事務

① 国と地方の関係の再構築

- ・ 設立のねらいに位置付けている国の地方支分部局の「丸ごと移管」の見直し
- ・ 広域リージョン連携の充実強化に向けた国への提案
- ・ 関西広域連合の実績を踏まえた第34次地方制度調査会への提案

② 東京一極集中の是正

- ・ 文化庁の関西移転の成果を生かした、さらなる政府機関移転への展開
- ・ 防災庁の司令塔の関西設置に向けた要請
- ・ 若者や女性の共感を得られるような産業の配置や働き方、暮らし方の提案



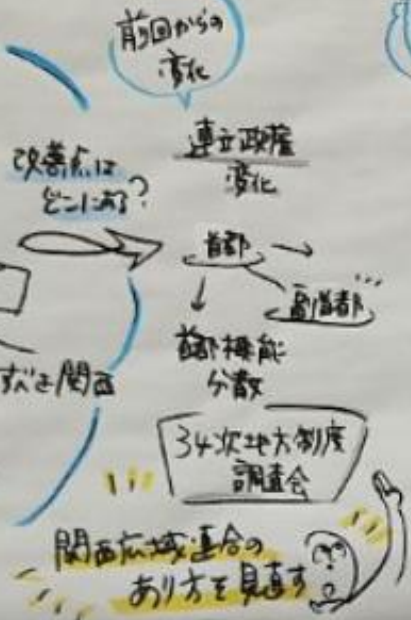
新たな広域自治 (第2回)

行政のあり方研究会

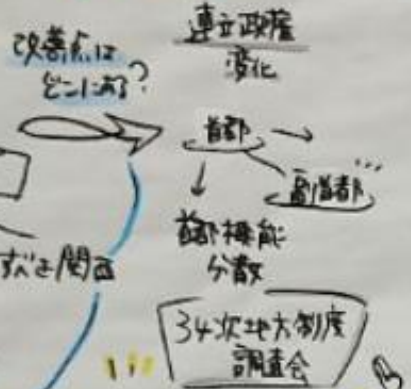
令和8年2月3日(火) 10:30~12:00
◎ 滋賀県庁管理センター + オンライン

研究会の目的

担う
役割
分野
どこか?



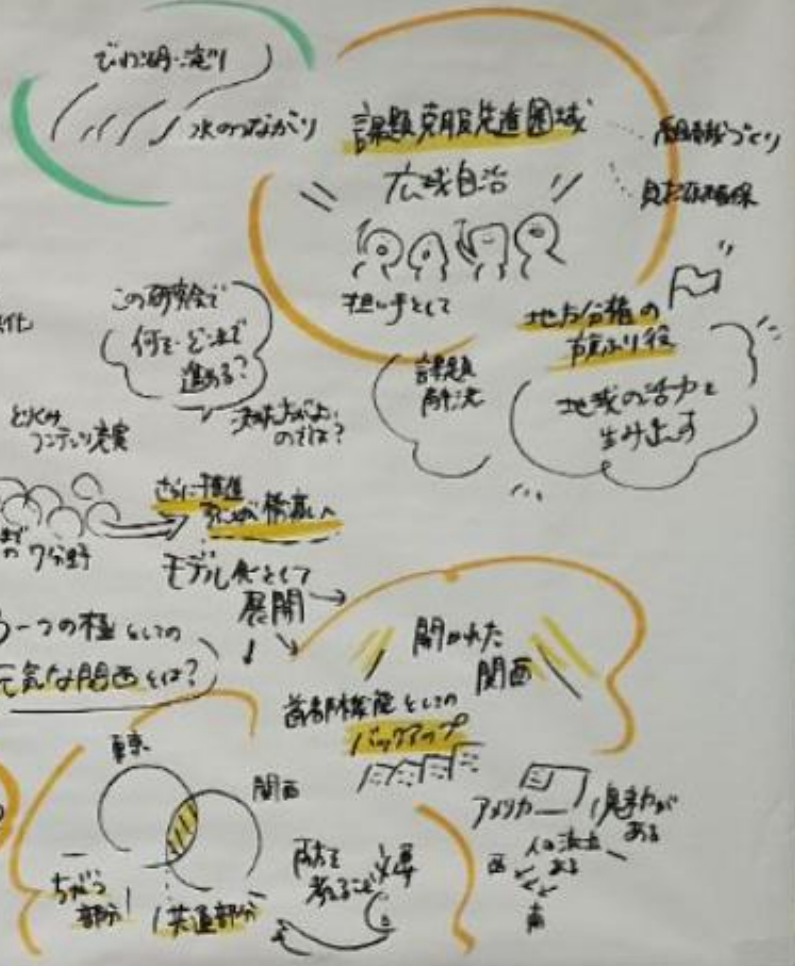
前回の振り返り



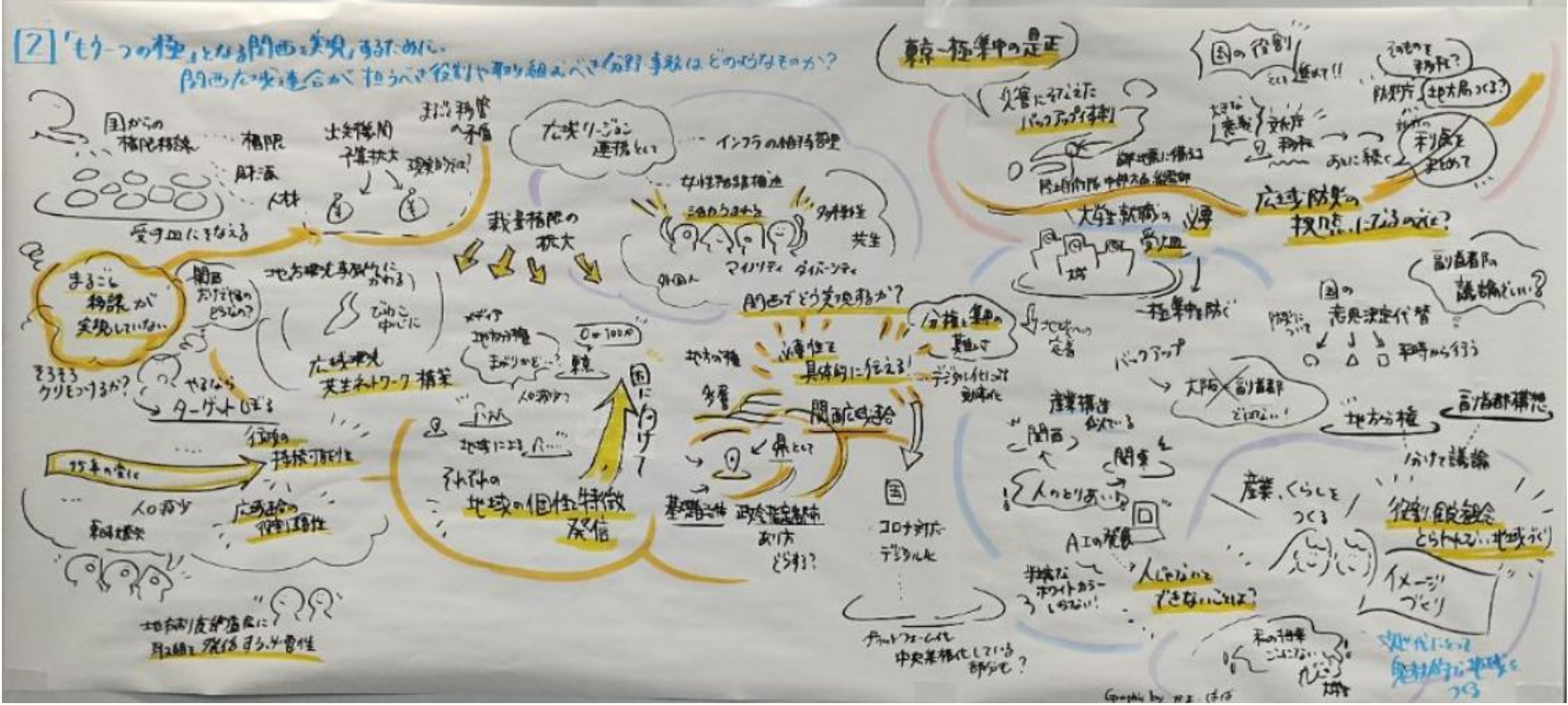
未来志向



① 首都圏とは異なる「もう一つの極」として 関西のありかを見直すことはどうなるのか



(参考) グラフィックレコーディング②



(参考)

「新たな広域自治・行政のあり方研究会」名簿

1 関西広域連合委員会 委員

役職	氏名
広域連合長	三日月 大 造 (滋賀県知事)
副広域連合長	西 脇 隆 俊 (京都府知事)
副広域連合長	吉 村 洋 文 (大阪府知事)
副広域連合長	久 元 喜 造 (神戸市長)
委員	齋 藤 元 彦 (兵庫県知事)
委員	山 下 真 (奈良県知事)
委員	宮 崎 泉 (和歌山県知事)
委員	平 井 伸 治 (鳥取県知事)
委員	後藤田 正 純 (徳島県知事)
委員	松 井 孝 治 (京都市長)
委員	横 山 英 幸 (大阪市長)
委員	永 藤 英 機 (堺市長)

2 アドバイザー

(敬称略、五十音順)

氏名	主な役職	主な専門分野
久木元 美 琴	京都大学大学院 准教授	都市社会地理学
谷 隆 徳	日本経済新聞社 編集局 編集委員	地方行財政、地方分権
谷 口 尚 子	慶応義塾大学 法学部 教授	政治行動論、政策研究
新 川 達 郎 (ファシリテーター)	同志社大学 名誉教授	行政学、地方自治論
真 鍋 精 志	(公社)関西経済連合会 副会長	地方分権、広域行政
諸 富 徹	京都大学 公共政策大学院 教授	財政学、環境経済学